

テーマ

「施工管理データ・システム連携基盤」を活用した建設DXの実現

研修会次第

日時 令和4年6月3日(金) 13:30~15:00

参加者 40名

場所 一般財団法人 先端建設技術センター 第一会議室 WEB併用講演方式(Microsoft Teams)

講師 株式会社大林組 本社 土木本部生産技術本部先端技術企画部技術第一課 副課長 湯浅知英様

講演内容

講演者である湯浅氏が2019年度から企画・開発してきた施工時のデジタルツインを実現するサイバーフィジカルシステム(CPS)の概要及び働き方改革実現のための業務アプリケーションのハブとなる「施工管理データ・システム連携基盤」開発の最前線について説明があった。さらに、日建連・協調領域検討会で議論されている現場データの共同利用について複数ゼネコンでの協調の取り組みについての現状説明があった。

URL

<https://industry.unity3d.jp/case/32/>



湯浅 知英 氏



講演の様子

Agenda

- 1 開発中の施工時データ・システム連携基盤とデジタルツインについて
- 2 協調領域と日建連での取り組みについて
- 3 建設DXについてと まとめ

OBAWASHI

講演内容

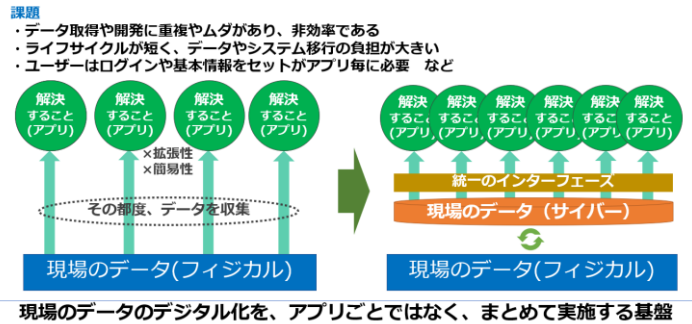


出典: 協調領域検討会、小澤先生作成資料より一部抜粋

協調領域

求められる基盤

CONFIDENTIAL OBAWASHI



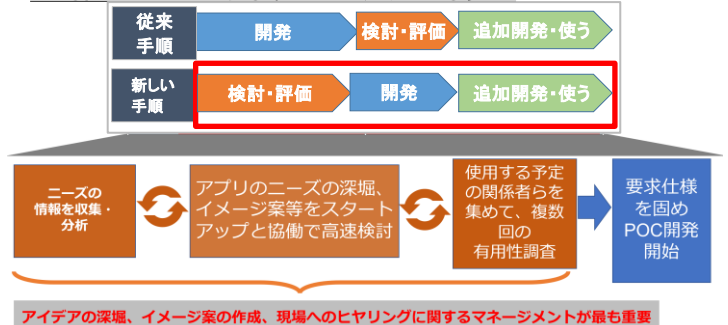
現場のデータのデジタル化を、アプリごとではなく、まとめて実施する基盤

データ・システム基盤  
において求められる基盤

建設DXに向けて

CONFIDENTIAL OBAWASHI

有益な開発に至ることが少なく、単発的で一過性になりがち



建設DXに向けて